

顔面神経麻痺の高気圧酸素療法

中田将風* 岸本昭憲* 大村一郎**
相須 実*** 五阿弥勝稜***

はじめに

Bell 麻痺の治療は、angiospasm により生じた ischemia と、これに起因する神経浮腫を軽減し神経が変性に陥るのを防ぐことが眼目である。

また、Bell 麻痺の原因が、vascular であれ、infectious であれ、局所に起こっている最終的な病態は、循環障害に基く酸素欠乏状態と推察され、こういった観点からも高気圧酸素療法の効果が期待できるものと考ええる。

対象症例

昭和57年4月より58年5月までの間に当科で治療した Bell 麻痺新鮮例、16名であるが、両側性麻痺のものがあるため、便宜上、17症例とした(表1)。

年齢は6歳から72歳にわたり、男性5例、女性11例であった。

麻痺の程度の評価は、日本顔面神経研究会の10項目、3段階、40点満点を用いた(表2)。この評

表1

症例	氏名	年	性	診断(側)	初診日	発症	OHP (回)	スコアの改善
1	S.O.	35	女	Bell (左)	57. 4.14	4.10	31	16→38
2	S.T.	63	女	Bell (右)	57. 7.19	7.16	12	14→40
3	M.N.	64	男	Bell (右)	57. 9.13	9. 8	13	6→40
4	J.K.	9	女	Bell (左)	57.10.26	10.25	22	14→40
5	F.H.	69	女	Bell (左)	57.12. 1	11.28	18	22→36
6	N.M.	26	女	Bell (両) ↗(左) ↘(右)	58. 1.21	1.19 1.22	25	12→6→40 6→40
7	Y.M.	55	女	Bell (右)	58. 3. 3	3. 3	16	10→38
8	M.H.	72	女	Bell (左)	58. 3.18	3.25	9	6→36
9	Y.F.	6	男	Bell (左)	58. 4.18	4. 8	8	30→38
10	I.K.	61	女	Bell (右)	57.11.15	11.11	27	28→22→38
11	M.T.	54	女	Bell (左)	57. 4.26	4.11	44	6→34
12	H.N.	22	男	Bell (左)	58. 3. 2	3. 1	30	8→34
13	S.K.	48	男	Bell (左)	58. 4.12	4. 8	16	12→20
14	K.O.	44	男	Bell (左)	57. 5. 1	4.30	35	18→4→22
15	T.K.	65	男	Bell (左)	57. 4. 9	4. 8	29	10→26
16	F.F.	65	女	Bell (右)	57.11.24	11. 7	18	6→22

*国立呉病院耳鼻咽喉科

**国立呉病院内科

***国立呉病院高気圧治療室

